



10月24日(火)

## 過去の発見

聖書朗読 マルコ 9:30~32

しかし、弟子たちは、このみことばが理解できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。  
マルコ 9:32

今日の聖句の中で(そして他の箇所でも)、イエス様が私たちの信仰を確立されるためにお選びになった12人の使徒が、十字架と復活のような基本的なことを理解するのが難しかったことを意外に思うのではないのでしょうか?

私たちは、自分がすべてをわかるようになるだろうと思っているかもしれませんが。しかし、そうなったときには、実は、自分が何も理解できてなかったことがわかるのです。

私は、新約聖書で語られている、神様の多くのお働きや私たちのためのご計画が、使徒たちにとっては「謎」であったという彼らの告白に慰められます。そのことが、どうして私の慰めになるのでしょうか? なぜなら私も、自分が理解できない多くのことに会おうからです。

パウロのように、私たちはこう言います。『ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りたいことでしょう。』(ローマ11:33)

*主がご計画される実は、刻一刻と成長して、瞬く間に熟します。*

*芽は苦いかもかもしれませんが、花は甘いです。*

*不信仰な者は盲目であり、間違いを犯し、神様のお働きを無駄に細かく調べます。神様はご自身を解き明かすお方であり、わかりやすく解き明かして下さいます。*

—— ウィリアム・クーパー

讃美歌 第二編 80

祈り 親愛なる主よ。自分たちがすべての回答を持つようになると考えてしまうことを赦してください。あなたの永遠の知恵とご栄光を覚え、それをたたえる謙虚な心を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジーン・シェルバーン  
テキサス州 アマリオ

10月25日(水)

## 小さな家だけで

聖書朗読 マルコ 12:28~34

次はこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』

マルコ 12:31

あなたの隣人は豪華な家に住んで、贅沢な暮らしをしているかもしれませんが。一方、あなたは控えめな家に住んでいます。あなたは定年後の収入でなんとか生活必需品をまかなっていますが、隣人は、あなたには決して持つ余裕のない車や旅行やプールにお金を使っています。でも、私たちは隣人を自分自身のように愛しているのです。隣人がお金持ちなのを羨んだり、あるいは、もっとひどいことを考えたりはしません。私たちは満足していますし、隣人を批判的に見ることはありません。イエス様のなさり方は隣人を愛することであって、妬むことではありません。

自分が隣人や隣人の富に劣っていると思いますか? 神様は、この地球に住む一人の血からすべての人々を創造されました。あなたは劣っていません。たとえ隣人より自分の方が少しの物しか持っていないとしても、隣人を愛しなさいと神様は私たちにおっしゃいます。

隣人はあなたを軽蔑しているようですか? あなたを会話に入れなかったり、あなたの目の前に彼の新しい「おもちゃ」を置いて見せびらかしたりしますか? 私たちが覚えるべき素晴らしい讃美歌があります。それは「小さな家だけで満足しています」という讃美歌です。

隣人を愛しましょう。彼や彼女に話しかけ、あなたが考えていること、祈り、会話に彼らも仲間に入れましょう。そうすることで、あなたがイエス様の御跡をたどることになるのです。

讃美歌 537

祈り 親愛なる主よ。救い主の愛について人々に語ったり、私たち罪のために十字架上で死んでくださったことを話したりすることで、隣人に あなたの愛を示すことのできる良きクリスチャンとしての影響力に、自分が心を注ぐことができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ティム・トーマス  
アラバマ州 ディケーター

10月26日 (木)

## 謙虚さは報われる

聖書朗読 ルカ 1:46~56

主は貧しい者を公義に導き、貧しい者にご自身の道を教えられる。

詩篇 25:9

子どものころ、学校で一番人気があった女の子のことを覚えています。彼女は学校の美人の一人で、有名な家柄の出身で、頭が良くて自信にあふれていました。でも、彼女は本当に美しかったですでしょうか？ 謙虚な子でしたか？ それとも傲慢な子でしたか？ 人を見下したりしましたか？ 好感のもてる子でしたか？

真の美しさとは、人の内面から出るもので、見た目からではありません。

マリアの中に美しさのお手本、特に若い女性にとってのお手本を見ることができます。イエス様の聖母になられる前に、マリアは神様のみこころにかないませんでした。神様は王女やお金持ちの若い女性をイエス様の聖母にはお選びにならず、むしろ、貧しい階層ではあるけれども、清らかな心の女性をお選びになりました。マリアは謙虚で、神様を畏れる者でした。純粋で、神様を信頼していました。神様はマリアに目を留められ、マリアのたましいは主をあがめ、彼女の霊は、救い主なる神様を喜びたたえました。彼女こそ、真に美しいお方でした。

「主はこの卑しいはしために目を留めてくださったからです」とマリアは讚美しました。ヤコブは『主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。』（ヤコブ 4:10）と言っています。まさにその通り、マリアは高くされました。

讚美歌 121

祈り 親愛なる主よ。それは人気者になりたいという誘惑です。外見で人気を得ようとするよりも、謙虚で、人々を愛し思いやることができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

H・グレン・ボイド  
アーカンソー州 サーシー

10月27日 (金)

## 栄光の神様

聖書朗読 ルカ 5:17~26

人々はみな、ひどく驚き、神をあがめ、恐れに満たされて、「私たちは、きょう、驚くべきことを見た」と言った。  
ルカ 5:26

あなたが神様を信じようとする時、それを一番邪魔する思いは何ですか？ 私の答えは30年前のものとも、50年後のものとも同じではないのです。歳を重ねるとそれぞれ違った思いが私の前に立ちはだかります。若さゆえの欲望、野望、怒り、不満、貪欲、自己中心性、憤り、悩み、疑い、不注意さがあります。このような思いが浮かんでくるたびに、私はなんとかしてこの感情を抑えています。

さて、どの感情が一番厄介なものでしょうか。時によってその答えは様々な感情の内のどれか一つになるときもあれば混じりあったものとなるときもあるでしょう。

でも私の中の感情との戦いは何十年も前に変えられたのです。今、私にとって思いは問題にならない程度のもとなりました。それでも思いは消え去ったわけではないのです。良い行いをして讃えられることを多くのクリスチャンが強く望んでいます。しかし、神様の御業を前に多くの人が神様を讃えたことこそ、神様が望んだことでした。すべての栄光は神様のためのもので、私たちの栄光への憧れは尽きることなく浮かんでいきますが、万雷の拍手への憧れを抑えられるように祈りましょう。

讚美歌 4

祈り 父なる神様。あなたの愛の内に正しい信仰を見つけられるように助けください。あなたの栄光を世で示せるように導いてください。アーメン。

ロバート・ブライル  
アイオア州 クレホーン

10月28日(土)

## 決断のイエスの様に

聖書朗読 ルカ 9:44~51

さて、天に上げられる日が近づいて来たころ、イエスはエルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向けられて、  
ルカ 9:51

何か月にもわたって専門のテストに受かるために準備している男がいました。何時間も勉強して、何千もの練習問題を解き、13万円もする他国のセミナーに四日間参加しました。

そしてテスト当日、その日は嵐でした。試験中、雷が落ちてきてパソコンが一瞬落ちてしまいました。多くのテスト問題はその後復旧しましたが大事な図がなかなか復旧しません。でもそんな中でも彼は心が惑わされないようにとずっと自分に言い聞かせてました。そのかいあってか、彼はこの不幸の中でも試験の最初の合格者となりました。

しかしこのようなことは起きうる事なのです。

人生は豊かで複雑です。失敗と成功の原因は数多くあり、また場合によって違います。それでもなお、決断することなしに達成できる価値あることなんてほとんどないということは多くの人がはっきりとすることができます。

イエス様はエルサレムに向かうという決断をなされました。イエス様はエルサレムで自分になが起きるかを確かに知っておられましたが、鋼の意思でそこへ向かわれました。イエス様を見習って、決断力を持ちましょう。

讃美歌 讃美歌21 511

祈り お父様。イエス様の一生のうちに私たちが決断の大切さを見出せることを感謝します。私たちもイエス様と同じように決断できるよう背中を押してください。

イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

ブルース・グリーン  
アラバマ州 オーペリカ

10月29日(日)

## 小さなことの大きな価値

聖書朗読 ルカ 21:1~4

「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」  
使徒 3:6

やもめの奉仕という信仰的なエピソードの中には、少なくとも二つのことが示されています。一つは富める者、つまり自らが経済的、また精神的にも豊かな者であるという大きな自負に裏付けされた者の大きな奉仕があるということです。そして、その一方で、自らができることはほんの少ししかないという自覚がある貧しい者の奉仕もあるということです。イエス様はこちらを用いられるのです。

私たちは日々自分が出来るほんの少しのことの価値を認識しなくてははいけません。服にアイロンをかける、落ち葉をかき集める、お見舞いの手紙を出す、寝たきりの人にご飯を持っていく、小さな野球の試合に参加したり、小学校の音楽会を見に行く、お隣さんの分まで歩道の雪かきをしておく、しっかり「ありがとう」と「ごめんなさい」を言うなどなど出来ることはたくさんあります。これらの親切な行いも奉仕なのです。勇気を与える言葉はそのすべてが私たちの中にいる神様を映し出すような生き方の奉仕になります。そしてそれらすべての勇気を与える言葉、また良い行いは神様を喜ばせます。

現代風にアレンジされたクリスマスの姿が描かれた「リトルドラマーボーイ」の歌詞のように、私たちは「神様への贈り物なんて何もない」と考えてしまうかもしれませんが。しかしイエス様は素晴らしい価値があると認めてくださった小さな行いを私たちがしていることを覚えてくださり、また喜んでくださいます。

讃美歌 388

祈り 天にいます父なる神様。私たちがその時出来る全力の奉仕をその大きさに関わらず受け入れて喜んでくださることに感謝いたします。アーメン。

ティム・ウィリース  
カルフォルニア州 マリブ